平成２８年度

第３３回　河内長野市地域公共交通会議次第

日時　平成２８年１０月２８日（金）

午後３時から

場所　ノバティホール

１．開会

２．議題

（１）企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて

（２）地域公共交通網形成計画の進捗状況について

（３）平成２８年度の公共交通の取組みについて

（４）その他

３．閉会

写　真

写　真

写　真

モックルカードまたはワイドモックルカードを
各窓口で提示すると特典満載！

※カード裏面の有効日に限り持参人様１名まで　※他のバスカードは対象外

※各施設での特典は平成３０年３月３１日まで有効

特典 写　真	特典 写　真
特典 写　真	特典 写　真
特典 写　真	特典 写　真

バス１日フリー乗車券

路線バス
１日乗り放題!!

河内長野市内(限定)
モックルカード

カード

カード

発 売 額　おとな 600円　こども 300円

発売場所　バス車内・アンスリー河内長野店・
南海バス河内長野営業所・
河内長野定期券発売所

市内路線図

たったの 600 円で１日乗り放題!!
さらに沿線施設ではこんなにお得な特典が受けられる

モックル

さらに
便利な

河内長野・千早赤阪１日フリーカードも好評発売中!!

河内長野＋千早赤阪
ワイドモックルカード

カード

カード

金剛ロープウェイ 10%割引!!

発 売 額　おとな 850円　こども 430円

発売場所　アンスリー河内長野店
南海バス河内長野営業所

お問い合わせ　南海バス　河内長野営業所　☎ 0721-53-9043　発行：河内長野市地域公共交通会議

バスで
市内探検

バスイラスト

寺ケ池公園

河合寺

烏帽子形城址

観心寺

天野山金剛寺

延命寺

略　図

自然休養村
小深の里

関西サイクル
スポーツセンター

滝畑ダム

岩湧山

くろまろの郷

花の文化園

木根館

モデルコース

【おすすめデートコース】

河内長野駅→花の文化園→奥河内くろまろの郷

写　真

写　真

→関西サイクルスポーツセンター→滝畑四十八滝→河内長野駅

写　真

写　真

【歴史探訪コース】

河内長野駅→河合寺→丸山展望台

写　真

写　真

バスのイラスト

→観心寺→延命寺→美加の台駅

写　真

写　真

【自然探訪コース】

河内長野駅→金剛ロープウェイバス停→金剛山駅→国見城跡

写　真

写　真

→千早城跡→金剛ロープウェイバス停→美加の台駅

写　真

写　真

イラスト

イラスト

イラスト

「河内長野市地域公共交通網形成計画」 具体的な取り組みの進捗状況について

資料２

目指すまちのイメージ	目標	観点
元気なまち 公共交通で移動しやすい都市魅力があるまち 日常の移動が確保された安心できるまち 交流が活発で活気のあるまち	将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供	利用促進（サービス改善）
		高齢者支援
		世代間交流による外出機会の創出
	公共交通サービス水準の向上	公共交通空白・不便地域の解消

対象	番号	具体的な取り組み	H27	H28	H29	備考
公共交通全般	1	(a)バスマップの作成・配布	実施			◇総合時刻表入りバスマップ（H28.３）50,000部作成し全戸配布
	2	(b)モデル的な取り組みの他地域への啓発	実施	実施		NEW ◇桐ヶ丘地域への「くすまる」の体験乗車と地域間意見交換会（H27.12） ◇交通不便地域での勉強会 向野町：H28年3,5,10月 桐ヶ丘：H27年7,9,10,11月、H28年1,6,10,12月（予定）
	3	(c)公共交通イベントの実施	実施	実施予定		NEW ◇交通環境教室（H27.8） NEW ◇バスの乗り方教室（H28.11予定）
	4	(d)観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施	実施	実施予定		◇モックルカードPRチラシ、ポスターの作成（H28.3、H29.3予定） NEW ◇市広報紙でバスでのお出かけルートを紹介予定（H29.2頃） NEW ◇庁内ＰＴにて意見交換の実施
	5	(e)商業施設等との連携	実施	実施予定		◇モックルカードPRチラシ、ポスターの作成（H28.3、H29.3予定） NEW ◇H28年１１月広報にて、利用特典協力者の募集記事を掲載予定
	6	(ｆ)周辺市との連携による効率的、効果的なバス路線構築の可能性検討	検討	実施		◇近隣市との情報交換
	7	(ｇ)ニーズに即した改善策の検討	実施	実施		NEW ◇コミュニティバス乗込み調査の実施（モックル、NEW 日野滝畑） ◇庁内ＰＴにて意見交換の実施
路線バス	8	(a)ICカードの普及促進	実施	→	→	NEW ◇H27年度より全国交通系ICカードの導入支援 NEW ◇H28年10月～プリペイド式ＩＣカード（なっち）の導入支援 NEW ◇プリペイド式ＩＣカード導入のＰＲ（H28.10月号広報）
	9	(b)乗継運賃値下げの検討	検討	検討		NEW ◇観光担当と連携し、お得に市内移動が可能な企画乗車券の提案を検討
	10	(c)千代田線における上限200円運賃の試行運転継続と、他路線への展開を検討	実施	実施/検討		◇千代田線は引き続き実施 ◇他路線への展開は検討
	11	(d)バスロケーションシステム導入の検討	検討	実施予定	→	NEW ◇H29年4月より導入予定
	12	(e)携帯電話等に対応した時刻表、ルート図などの提供を検討	検討	実施予定	→	NEW ◇H29年4月からバスロケ導入により、リアルタイムのバス位置情報の提供を予定
	13	(f)深夜バスの運行を検討	実施	実施		◇H27年12月～千代田駅前→緑ヶ丘北町への運行 ◇H28年7月～三日市町駅東→美加の台エリアに「金曜日限定深夜バス」の運行
	14	(g)路線バスの運行を検討	実施	実施		◇H27年12月～清見台団地線の三日市町駅西側ロータリーでの全便発着 ◇H27年12月～高野線ダイヤを意識したダイヤ編成（市庁舎線の通勤時間帯のダイヤ変更など） ◇H28.7～天野山線の再編（旭ヶ丘系統・槇尾中学校系統の統合系統の新設）
モックルコミュニティバス	15	(a)車内でのPR	実施	実施		◇運行状況の掲出 ◇市関係部局開催のイベント情報の掲出 ◇小学生が描いた絵画の展示（毎年3月頃）
	16	(b)市役所、バス停周辺施設、店舗等でのPR	実施	実施		◇広告事業者の協力による時刻表作成、新聞折り込み配布
	17	(c)上限200円運賃の本格運行への移行を検討				◇H22.4～実施し、試行運行の継続実施を市広報や沿線施設等にてＰＲ
日野・滝畑コミュニティバス	18	沿線観光施設、商業施設等との連携による割引特典等を活用した利用促進	実施	実施		◇モックルカードPRチラシ、ポスターの作成（H28.3、H29.3予定） NEW ◇協力施設とタイアップし、日野滝畑沿線のイベントカレンダーをバス車内に掲出 NEW ◇H28年１１月広報にて、利用特典協力者の募集記事を掲載予定
公共交通全般	19	ノンステップバス導入の推進	検討	検討		◇事業者とも連携し、新車両導入予定がある際には導入支援（H24年度以降2台導入）
路線バス	20	フリー乗降導入指針の作成及びフリー乗降の展開	検討	検討		◇既に導入済みの荘園町、南青葉台では引き続き実施 ◇他地域での展開のためにも、導入による効果や実績を事業者とともに検討していく予定
モックルコミュニティバス	21	同伴者割引拡大の検討	検討	検討		◇H25.10～実施 ◇効果検証を継続的に実施（乗り込み調査によるアンケート実施など）
地域に合った公共交通の検討	22	(a)地域主体の公共交通の運行継続条件の検討（運行維持のための継続した取り組み）	検討	実施/検討		◇楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」は５年連続で高い収支率を維持 ◇くすまる５周年記念式典を地域が主導となって企画し、新たな利用者開拓にも力を入れている
	23	(b)地域に合った公共交通の試行運行を検討	実施	実施		◇桐ヶ丘地域ではH26年度実施のアンケート結果を踏まえた上で、利用予測や収支率の試算、試行運行のルート案等を地域が検討 ◇話合いが進む中で、早急に事を運ばず試行実施までに十分な準備や周囲の理解がさらに必要との判断 ◇H28年度は新たな委員も加わったことで、再び試行運行へ向けた機運が徐々に高まりつつある状況

資料３－１

公共交通庁内検討会議（交通 PT）について

１．目　的　　今後の公共交通について、人口減少や少子・高齢化に対応するため、庁内連携を図り、「福祉」「観光」両面で情報交換や調査研究のほか、可能性のある新規施策の検討等を行い、持続発展できる公共交通に向けた施策提案を行う。

２．参加部局 「福祉の視点（交通弱者 PT）」・・・いきいき高齢・福祉課、障がい福祉課
「産業、観光の視点（利用促進 PT）」・・・産業観光課、ふるさと文化財課

３．これまで開催した会議回数など
２月～8 月
（担当課長会議）全 2 回
（担当者会議）　全 6 回　※交通弱者 PT、利用促進 PT は別個に開催

４．会議内容
◇各課の施策の情報交換
◇連携可能な施策の検討
◇新規施策の検討

5．提案内容
- 交通弱者 PT：17 施策
- 利用促進 PT：12 施策

6．留意事項
～交通弱者について～
◇庁内検討で議論する範囲の「交通弱者」とは、主に高齢者などを想定しているが、「公共交通の利用が困難な方」は除く（福祉施策の充実でカバーする）。
～庁内連携について～
◇公共交通を手段として、その先に「魅力ある目的（ニーズ）」を作り出す必要があることから、今後も各部局と連携を図って行くことが非常に重要である。

7．今後の予定
- 地域公共交通会議で報告を行い、様々な意見・助言をいただき、庁内でも議論を重ねながら、実現性のある施策については、実施に向け取り組んで行く。

公共交通PT（交通弱者PT）施策提案（概要）

資料３－１－①

番号	対象	提案施策名	概要	実施主体	見込まれる効果	課題など
1	路線バス	高齢者のお出かけ応援事業	市内在住の65歳以上の方に、バス利用時の運賃を、一律一乗車100円にする。	市と南海バスの協働事業	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・バスの利用促進 ・市内商業の活性化	・財政負担が大きい
2		フリー乗降区間の新設	現在、荘園町、南青葉台地域で実施しているフリー乗降制度について、他地域にも展開を図る。	南海バス・地域	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・バスの利用促進	・安全性（急勾配・地理的制約） ・地域のニーズ
3	モックルコミュニティバス	ルート変更 （重複ルートの廃止等）	現在、公共施設を重点的に回っているルートについて、重複ルートを廃止する。また、乗降数の少ないバス停を見直し、利用促進に繋がるようルートを変更する。	市・南海バス	・運行距離、時間の短縮 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・バスの利用促進	・既存ルート利用者からの苦情 ・路線バスとの棲み分け(競合しない)が大前提
4		お出かけ応援バスの運行	市役所・病院の休みとなる日曜日について、利用数が少ないことから、団地間の住民を奥河内くろまろの郷などの拠点へ行くルートとして運行する。	市・南海バス	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・バスの利用促進	・既存ルート利用者からの苦情 ・団地間を走らせることの公平性 ・路線バスとの棲み分け(競合しない)が大前提
5		同伴者割引の平日拡大 （全日実施）	現在、利用者数の少ない日曜日限定で実施している同伴者割引について、平日にも拡大する。	市・南海バス	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・バスの利用促進	・現在の試行実施の検証が必要
6	タクシー	地域乗合タクシー運行事業 （定時・定路線）	公共交通空白不便地域などの特定のエリアにおいて、事業者、行政、地域が協働で取り組み、停留所を設置し、時刻を決めてタクシーを運行する。	市・事業者・地域	・公共交通空白不便地域の解消 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・地域の機運が盛り上がってこない（ニーズが無い）
7		地域乗合タクシー運行事業 （定時・定路線）でのフリー乗降	既に地域乗合タクシーが運行しているエリアにおいて、高齢などで停留所に行くことが困難な方のため、フリー乗降区間を設ける。	市・事業者・地域	・公共交通空白不便地域の解消 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・安全性 ・地域のニーズ
8		地域乗合タクシー運行事業 （デマンド型）	利用者が電話で利用時間帯と目的地の予約を行い、乗り合う人を順に迎えに行き、目的地まで送迎する。	市・事業者・地域	・公共交通空白不便地域の解消 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・財政負担が大きい ・一部の時間帯や客の利用だけになる場合あり
9		高齢者お出かけ応援タクシー利用助成事業	市内在住の単身世帯の65歳以上の方がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成する。	市	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・財政負担が大きい ・実績に応じた補助にしなければ、目的外使用の恐れあり

公共交通PT（交通弱者PT）施策提案（概要）

番号	対象	提案施策名	概要	実施主体	見込まれる効果	課題など
10	タクシー	タクシー事業者による昼間迎車料金無料事業	タクシー事業者の閑散時間帯である昼間について、地域と協定を結び、迎車料金を無料にするなどし、通常のタクシーとして送迎する。また、行政が間に入り、要望と取りまとめ、事業者に連絡する。	市・事業者・地域	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・デマンド式であるため、要望が多くなると、きめ細やかに対応出来ない。 ・事業の収益性
11	その他	白ナンバーのバスを活用したループバスの運行事業	福祉センター、民間施設（病院や塾、幼稚園など）の民間バスの空いている時間帯にコミバス的に運行する。	市・民間施設など	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・行政負担の軽減	・道路運送法上の課題（白ナンバーで客は乗せれない。緑ナンバー化が最低条件） ・路線バスとの競合 ・公共交通に位置づけられるのか？
12		NPO法人等による福祉有償運送	要介護、要支援者等で、単独でタクシーその他の公共交通機関を利用することが困難な身体障がい者等の会員に対して、ドア・ツー・ドアの個別輸送を行うもの。	NPO法人など	・要介護、要支援者の交通対策	・対象者が限られる（登録制で主に要支援。要介護が対象） ・介護保険制度でカバーされるため、事業性が見込めない
13		市町村による公共交通空白地有償運送	市町村内の交通空白地において、市町村自らが当該市町村内の住民等の運送を行う。	市・地域	・公共交通空白地の解消	・基本的に交通が無い空白地での運送手段
14		まごころ応援カード事業	65歳以上の方、18歳未満の子どもを養育する世帯に、公共交通を利用した場合、取扱店で割引などが受けられるカードを発行し、子育て世帯や高齢者の地域生活を支援するとともに、市内商業の活性化を図る。	市・市内事業者	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援 ・市内商業の活性化	・バス事業者・市内事業者の協力、協賛の度合い ・公共交通利用した旨の識別方法
15		他市のコミバスの活用（他市との連携）	他市と隣接している公共交通不便地域等について、他市のコミバスが近くを走っていることから、一定の負担をすることにより、コミバスの路線を延伸してもらう。	市・他市・南海バス	・公共交通空白不便地域の解消 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・買い物支援	・公平性と他市のメリット
16		免許返納サポート事業	65歳以上の方で、車の運転免許を自主返納した方に対し、バス、タクシー利用券5,000円分を交付し、交通安全及びバス利用の促進を図る。	市・事業者・警察	・バスの利用促進 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・交通安全	・バスの利便性の向上（車を手放した時に利便性の高い交通手段が無い地域の高齢者もいる） ・費用対効果
17		地元スーパーによる買い物バスの運行	地元スーパーが地域と協定を結ぶなどし、週1回程度、送迎バスを運行する。	地元スーパー・地域	・公共交通空白不便地域の解消 ・買い物支援	・スーパーによる主体的運行は困難

公共交通PT（利用促進PT）　施策提案（概要）

資料３－１－②

番号	対象	提案施策名	概要	実施主体	見込まれる効果	課題など
1	路線バス	市広報等での路線バスを活用した観光ルート紹介	市広報等で、公共交通（バス）に乗ってお出かけする具体的なルートを、写真付で紹介することにより、市民のお出かけの需要喚起を行う。	市	・バスの利用促進 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・シビックプライドの醸成	・魅力あるルート設定 ・沿線施設の特典、協力など
2		路線バスを活用した親子のふるさと歴史探検事業	路線バスを活用し、主に小学生の子どもを持つ親を対象にした「地域の歴史文化遺産のセミナー」を実施し、親が子に地域の歴史文化を教える実践を行う事業を実施する。	市	・バスの利用促進 ・意識啓発 ・シビックプライドの醸成	・PR方法（参加率が低い傾向があるので、効果的なPRを検討する必要あり）
3		路線バスを活用したものづくり企業見学	路線バスを活用して、市内の有名なものづくり企業の見学ツアーを実施する。	商工会、南海バス、市内企業	・市内商工業の活性化 ・バスの利用促進 ・シビックプライドの醸成 ・都市ブランドの向上	・協力企業の確保 ・商工会側の負担（募集、企業調整など）
4	モックルコミュニティバス	日曜日の観光ルートへの変更	市役所・病院の休みとなる日曜日について、利用数が少ないことから、くろまろの郷などの拠点や、寺社や観光地などを巡るルートに変更する。	市・南海バス	・バスの利用促進 ・意識啓発 ・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・来訪者の誘客 ・都市ブランドの向上	・既存利用者からの苦情 ・継続性の課題（利用予測：魅力あるルートにできるか） ・路線バスとの棲み分け(競合しない)が大前提
5		自転車積載が可能なバスの運行	自転車を積めるようにし、各バス停から利用者が自転車で自由に走れるようにする。	市・南海バス	・バスの利用促進 ・意識啓発 ・観光振興（来訪者の誘客） ・市内商業施設等の活性化 ・都市ブランドの向上	・道路運送法上の課題（自転車積載運賃収受の手続き ・収益性
6		バス車内のコミュニティ空間の創出	車内に、固定式のテーブルを置くなどし、居場所をつくり、お年寄りがくつろげるスペースを設けることにより、人が集える場にする。	市・南海バス	・高齢者のお出かけ応援、社会参加の促進 ・交流、居場所つくり ・シビックプライドの醸成	・安全運転上の課題 ・利便性の低下（他の乗客の座席減少）
7		バスラッピング事業	奥河内の魅力に繋がるデザインをバスの車体にラッピングすることにより、利用者をはじめ、市内外の方々に広くPRすることができ、観光客の誘客を図る。	市	・観光振興（来訪者の誘客） ・バスの利用促進 ・都市ブランドの向上	・財政負担が大きい

公共交通PT（利用促進PT）　施策提案（概要）

番号	対象	提案施策名	概要	実施主体	見込まれる効果	課題など
8	日野滝畑コミュニティバス	観光ボランティア同乗による観光案内バスの運行	河内長野駅⇒滝畑ダム行きのバスに、観光ボランティアが同乗し、ガイドを行う。	市・南海バス・観光ボランティア	・観光振興（来訪者の誘客） ・バスの利用促進 ・都市ブランドの向上	・安全性 ・ボランティアの体制
9	タクシー	インバウンドにも対応した観光タクシー事業	インバウンドにも対応した観光タクシーを走らせることにより、来訪者の増加、タクシー事業の収益増加を図る。	タクシー事業者	・観光振興（来訪者の誘客） ・タクシーの利用促進 ・都市ブランドの向上	・運転者の案内技術 ・需要が少ない ・魅力あるルートの開発
10	その他	バス車両の有効活用の検討（乗車人数の少ない地域は小型バスなど）	岩湧線や日野滝畑のダム方面、石見川などの路線について、小型バスを導入するなどし、バスの有効活用を図る。	南海バス	・経費の軽減 ・バスの利用促進	・南海バスとして可能な節減を実施していることから、更なる節減は困難
11	その他	ふるさと納税の賞品にモックルカード	市のふるさと納税の賞品としてモックルカードとバスグッズのセットにしたものを提供する。	市・南海バス	・バスの利用促進 ・意識啓発 ・シビックプライドの醸成 ・都市ブランドの向上	・登録事業者として認定できるか ・バス事業者との協議（利用促進に繋がる賞品を提供できるか）
12		ノーマイカーデーにおけるバス利用促進事業	公共交通の利用促進を目的に、大阪府のノーマイカーデーに合わせ、毎月20日にバスを利用すると一定の特典（市内飲食店で割引等）が受けれるようにする。	市・南海バス・事業者	・バスの利用促進 ・市内商業の活性化	・広報啓発だけでは効果薄 ・事業者による魅力ある特典が必要 ・バス利用者の確認方法

資料3-2

日野・滝畑コミュニティバス乗込み調査結果（報告）
第1回：H28.5.17（火）　第2回：H28.8.17（水）　実施

①調査の目的

・バスの利用実態を把握するため。

・今後のバス路線維持充実に向けた資料にするため。

②調査内容

・各便の停留所別乗降者数

・ヒアリング調査

③調査対象便数

・河内長野駅前⇒滝畑ダム、滝畑ダム⇒河内長野駅前

第1回：滝畑ダム発9便

河内長野駅前発9便

第2回：滝畑ダム発10便

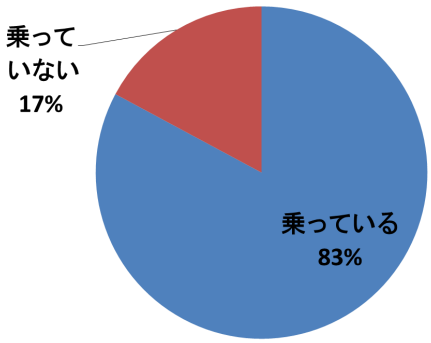
河内長野駅前発9便

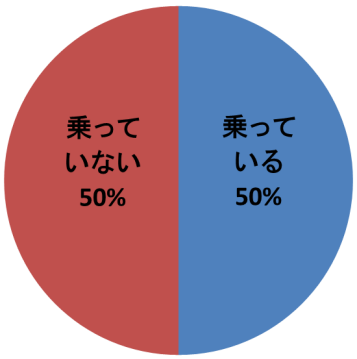
④調査員

・都市創生課員6名

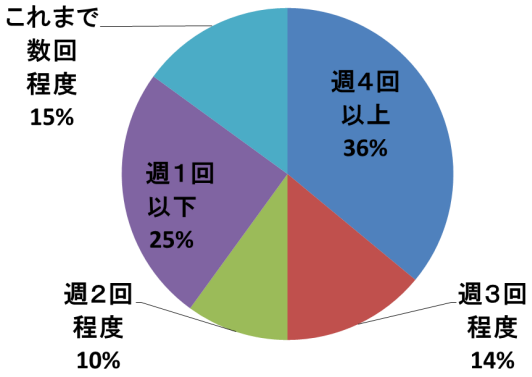
第1回（H28.5.17） N=116	第2回（H28.8.17） N=99

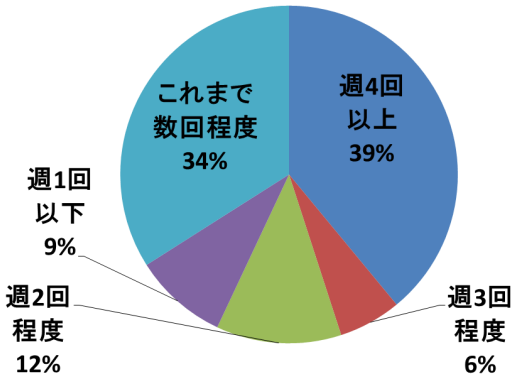
1．このバスにはいつも乗っていますか？



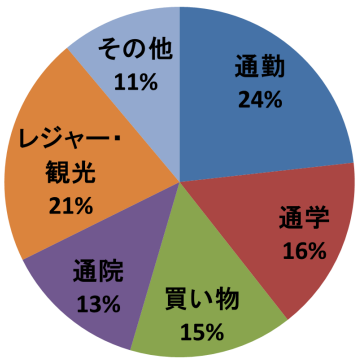


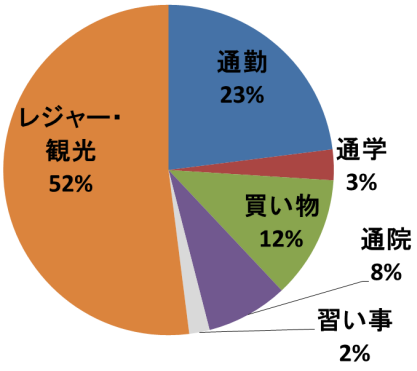
2.利用頻度を教えて下さい。





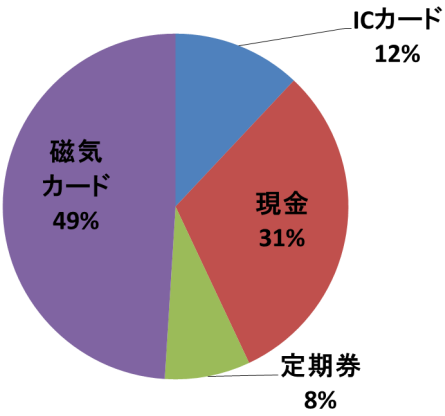
3.利用目的について教えて下さい。

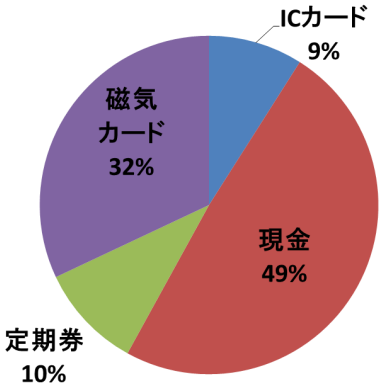




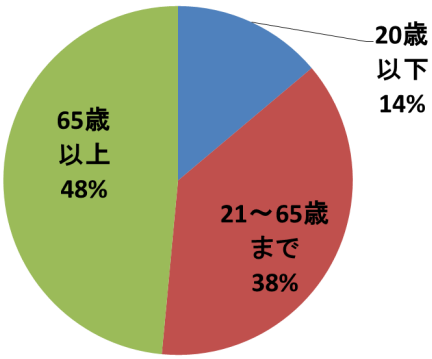
第1回（H28.5.17） N=116	第2回（H28.8.17） N=99

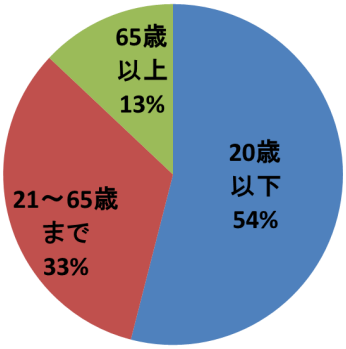
4. 利用券種について教えてください。



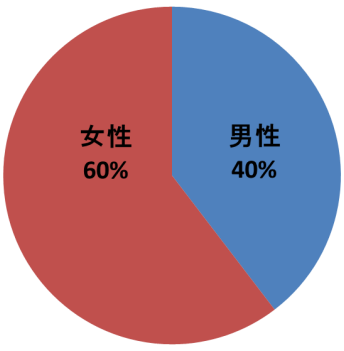


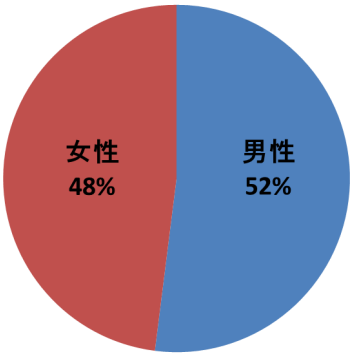
5. 回答者の年齢について。





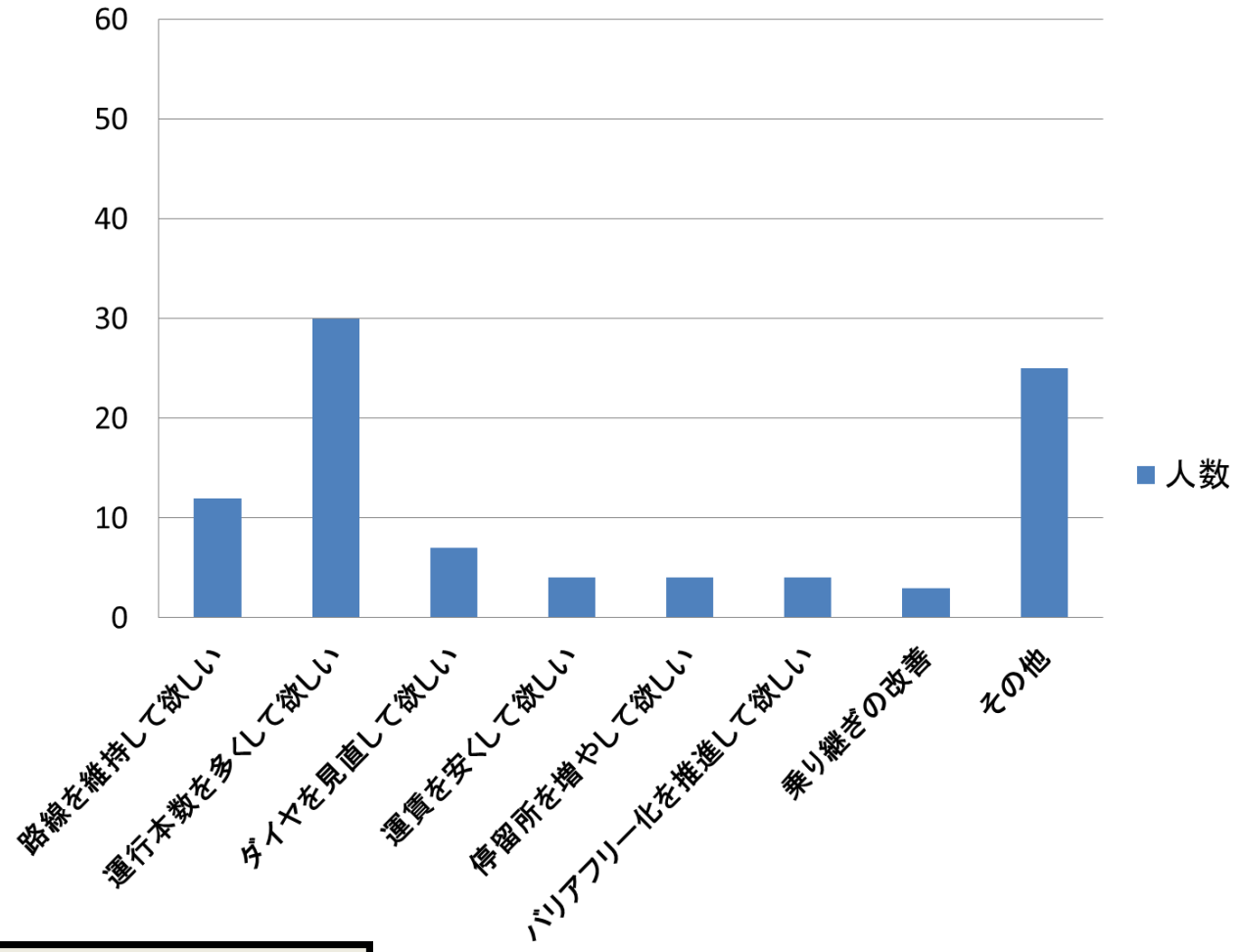
6. 回答者の性別について。



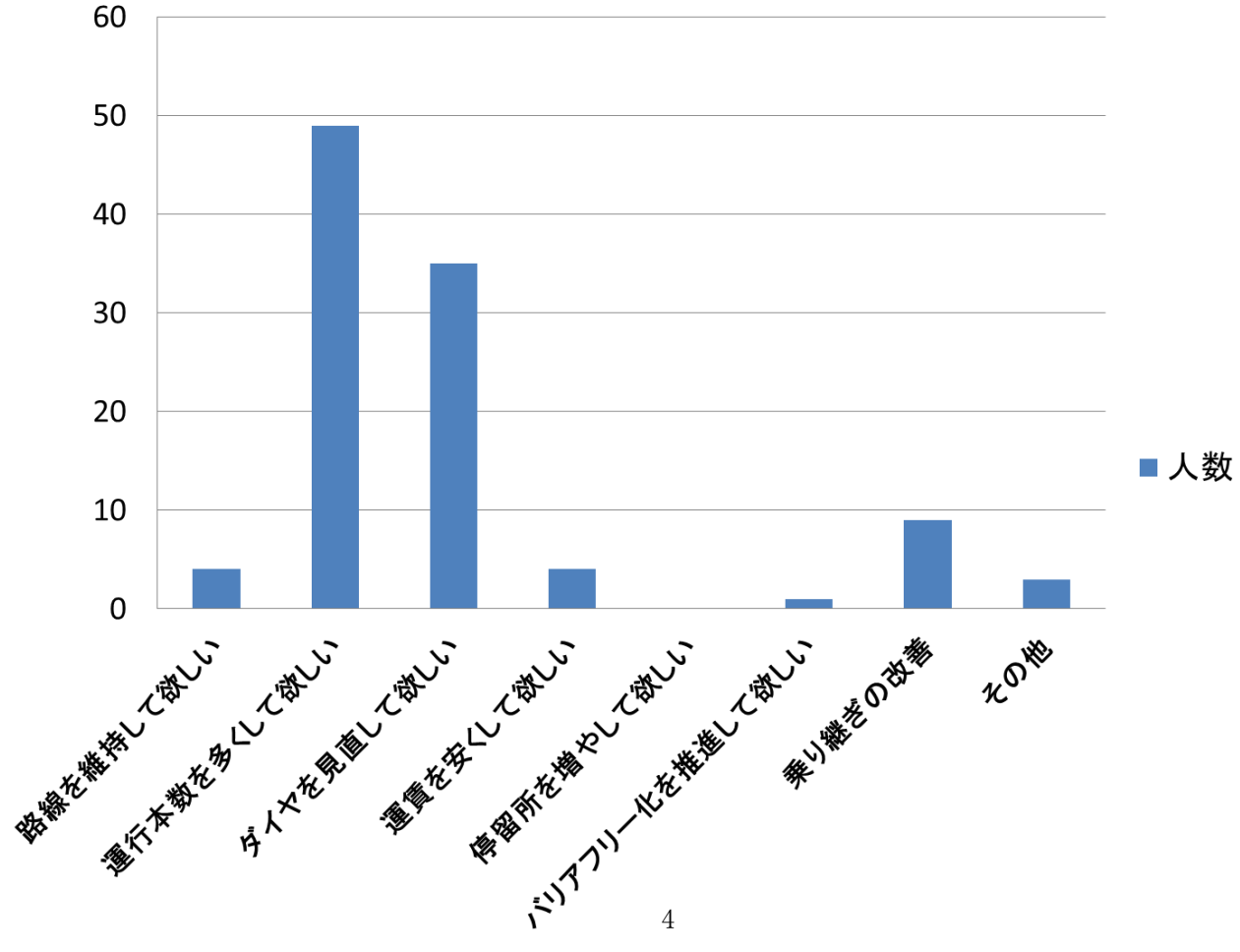


7. あなたのご意見をお聞かせ下さい。

第1回（H28.5.17）



第2回（H28.8.17）



7. あなたのご意見をお聞かせ下さい。（その他のご意見）

第1回（H28.5.17）

◯ダイヤについて

・1時間に1便あったらいい。乗り遅れると2時間待たないといけない時間帯がある。

・1時間に1便は少ない。30分に1便にしてほしい。

◯通勤・通学の方

・終バスをもっと遅くまで運行して欲しい。

（高向地域在住の会社員の方）

・毎回、5、6分ほど遅延する時間帯があり、塾に遅れたことがあった。

（滝畑地域在住の中学生の方）

◯その他、日野滝畑コミュニティバスについて

・あるだけで嬉しい。

・全体的に満足している。

・（他の路線に比べ、険しい道が多い中で）運転手さんの運転が上手。

◯日野滝畑コミュニティバス含め、バス全体について

・路線を増やして欲しい。

・堺市は1日乗り放題200円、河内長野市なら600円である。河内長野市にもおでかけ応援を導入して欲しい。

7. あなたのご意見をお聞かせ下さい。（その他のご意見）

第2回（H28.8.17）

◯ダイヤについて

・1時間に1便は欲しい。

・バスがない時間帯をなくして欲しい。

・終バスが早い。終バスを逃してタクシーで帰ることがある。

◯通勤・通学の方

・朝は9時に間に合うバスが欲しい。帰りは滝畑ダム15時台発が1便欲しい。
（滝畑地域で勤務の方）

・朝は丁度良い時間のバスがない。帰りは早く終わるため、もう少し遅い時間のバスが欲しい。
（高向地域で勤務の方）

・9時からの始業に間に合わないため、河内長野駅前9:04発のバスに乗る事で了承を得ている。もう1便早いバスが欲しい。帰りは滝畑ダム17時台発のバスがもう1便欲しい。
（天見地域でアルバイト勤務の方）

・土曜日に早く帰るが、河内長野駅前14時台発のバスがない。運行本数を増やして欲しい。
（滝畑地域在住の高校生の方）

◯日野・滝畑コミュニティバス含め、バス全体について

・堺市のお出かけ応援のようなものが河内長野にも必要。

・夏場、暑いので停留所停車中のバス車内で待たして欲しい。

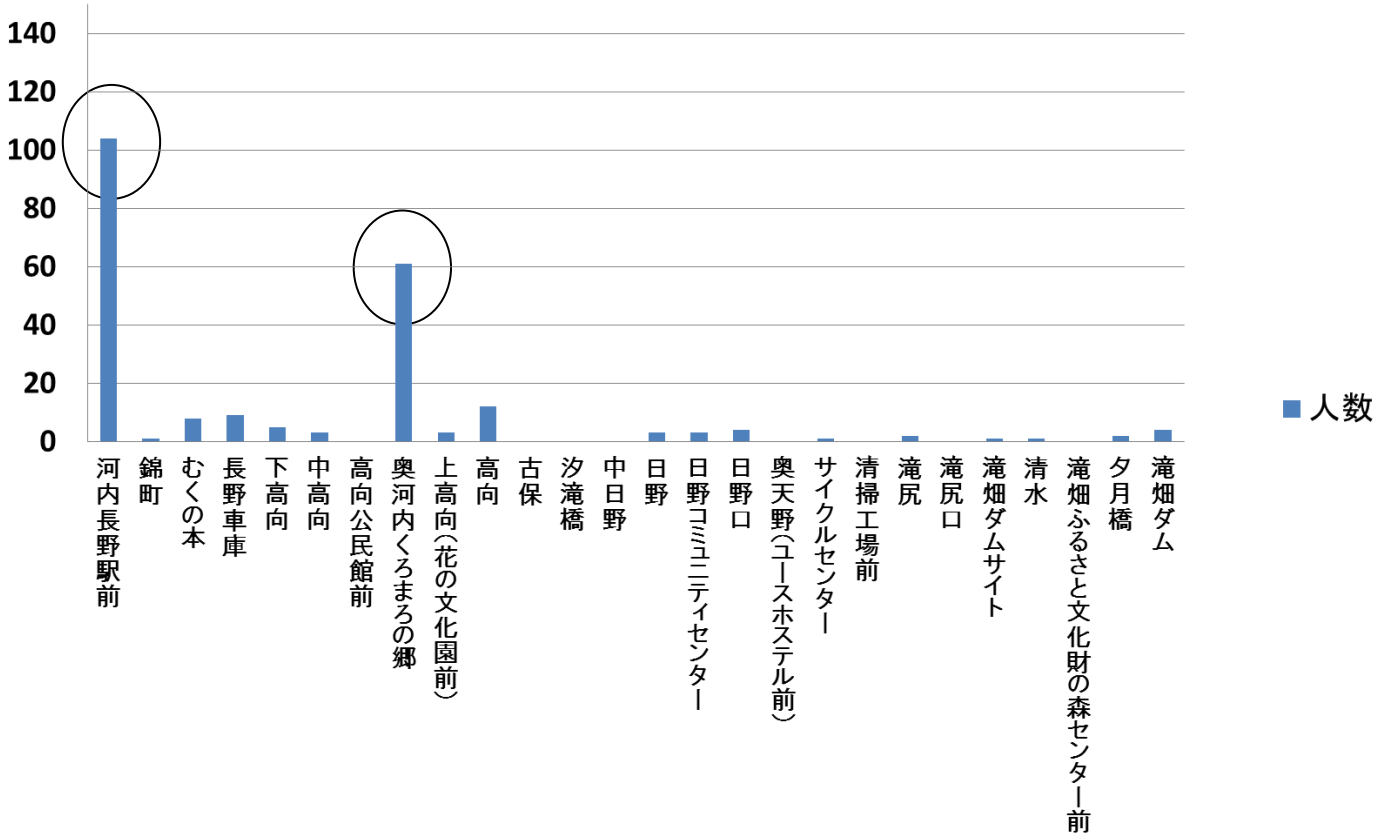
・運行終了後、長野車庫に行くなら、せめて高向行きにして欲しい。

・車椅子の方が乗車する際に、運転手さんが助けてくれて親切。

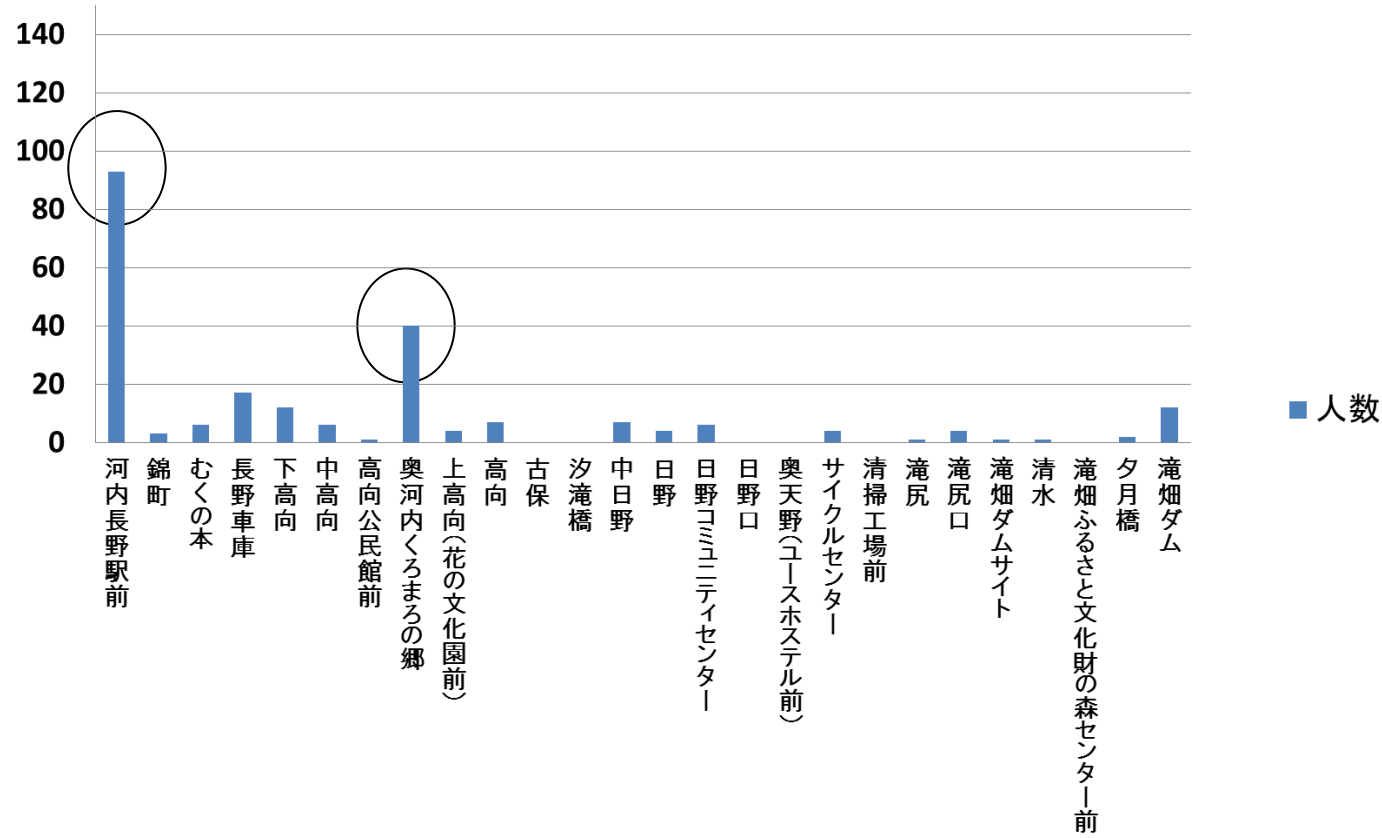
調査当日の利用状況について

第1回(H28.5.17)

乗車数

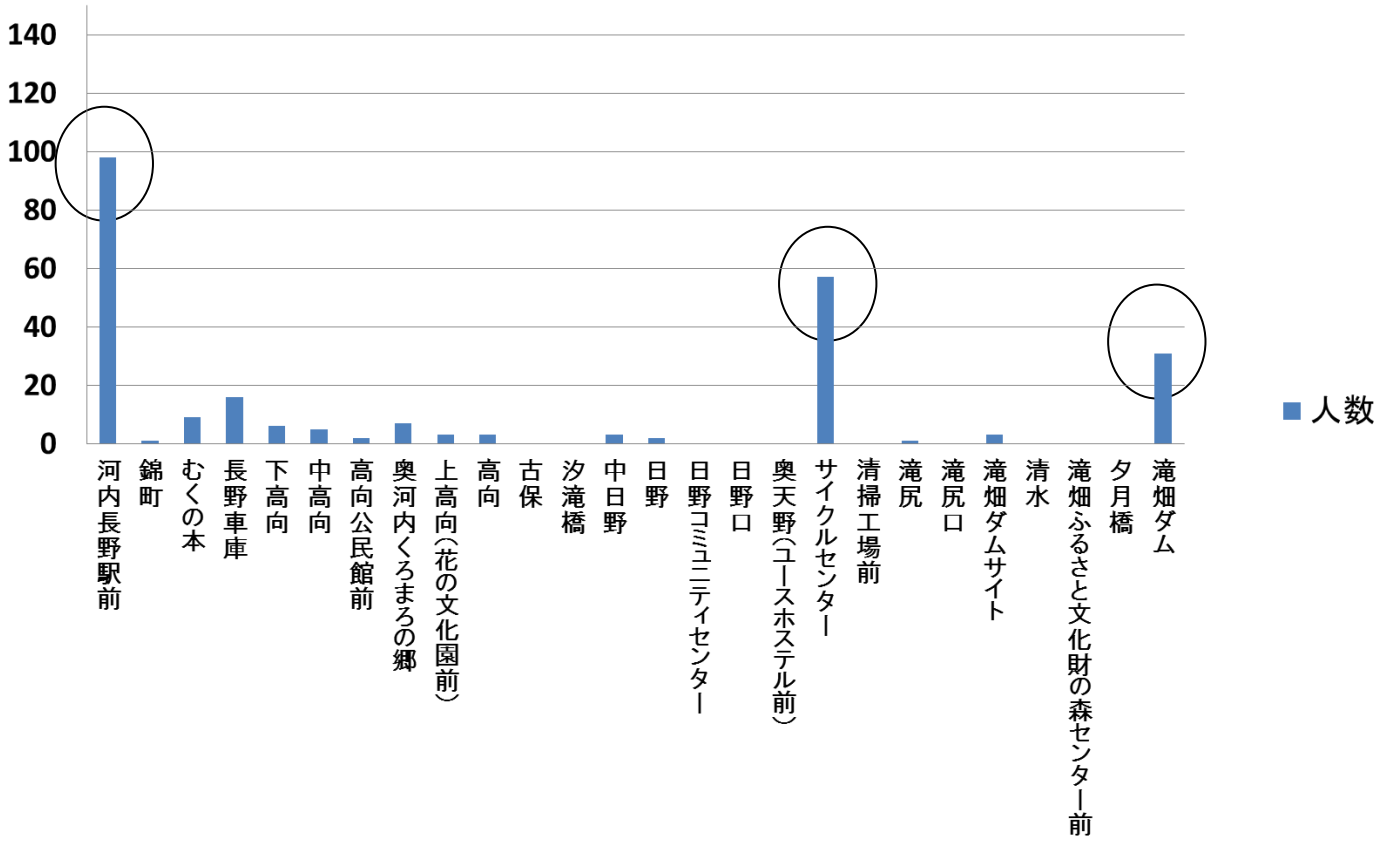


降車数

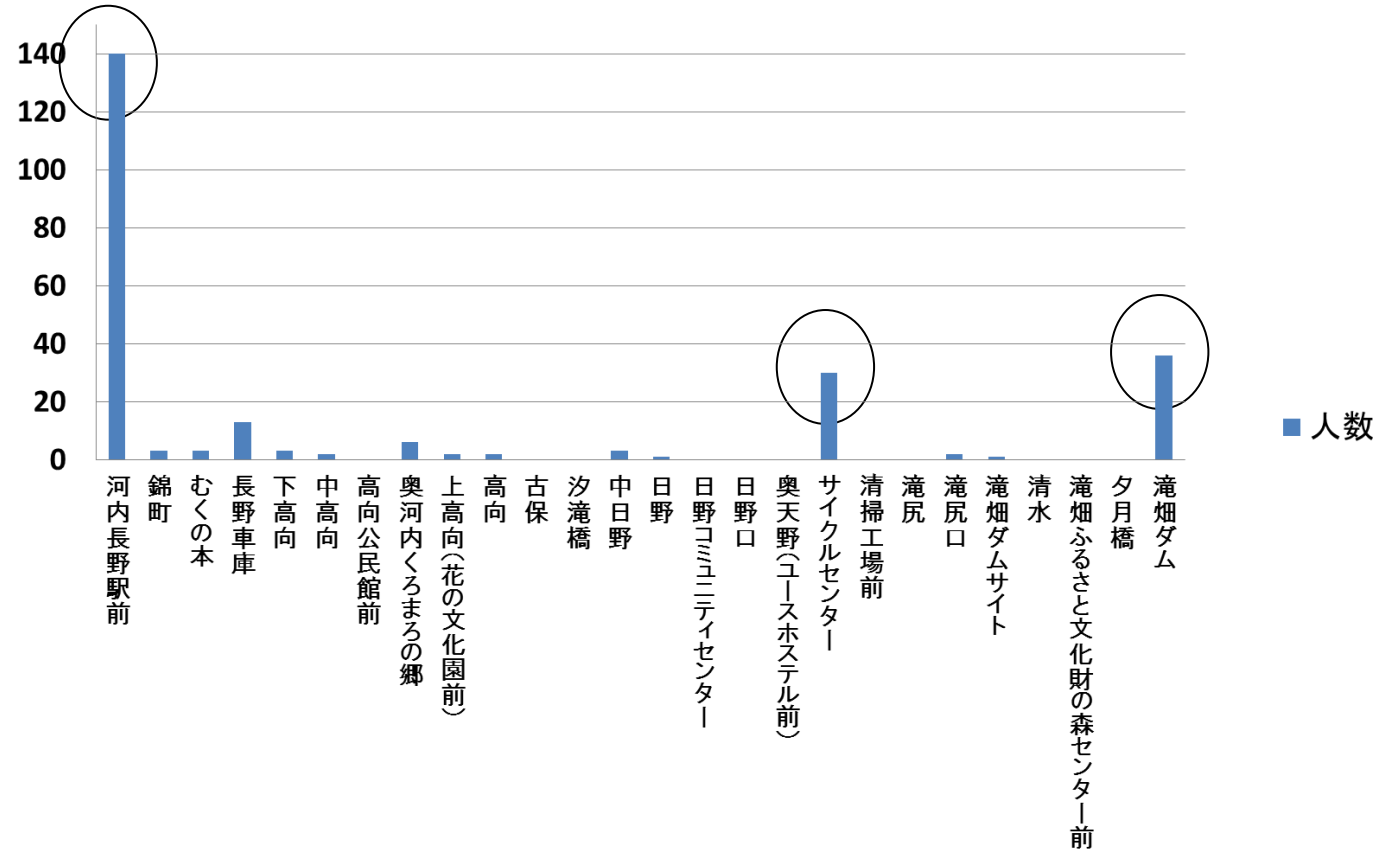


第2回（H28.8.17）

乗車数



降車数



近畿運輸局　『地域連携サポートプラン』

資料３－３

近畿運輸局

■交通の現状

人口減少やモータリゼーションの進展などに伴い、地域公共交通の利用者の更なる減少が見込まれ、交通事業者の自助努力のみによる地域公共交通ネットワークの維持には限界があるなど、地域における交通に関連する中長期的な課題が山積している。
このような中、「コンパクト＋ネットワーク」の実現を目指し、持続的な地域公共交通ネットワークを構築することが求められている。

■地域公共交通の取組とは

地域公共交通の維持･改善は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光、健康、福祉、教育、環境などの様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、民間事業者を中心とした従来の枠組みから脱却し、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となってまちづくり、観光等の地域戦略の一環として取組む必要がある。

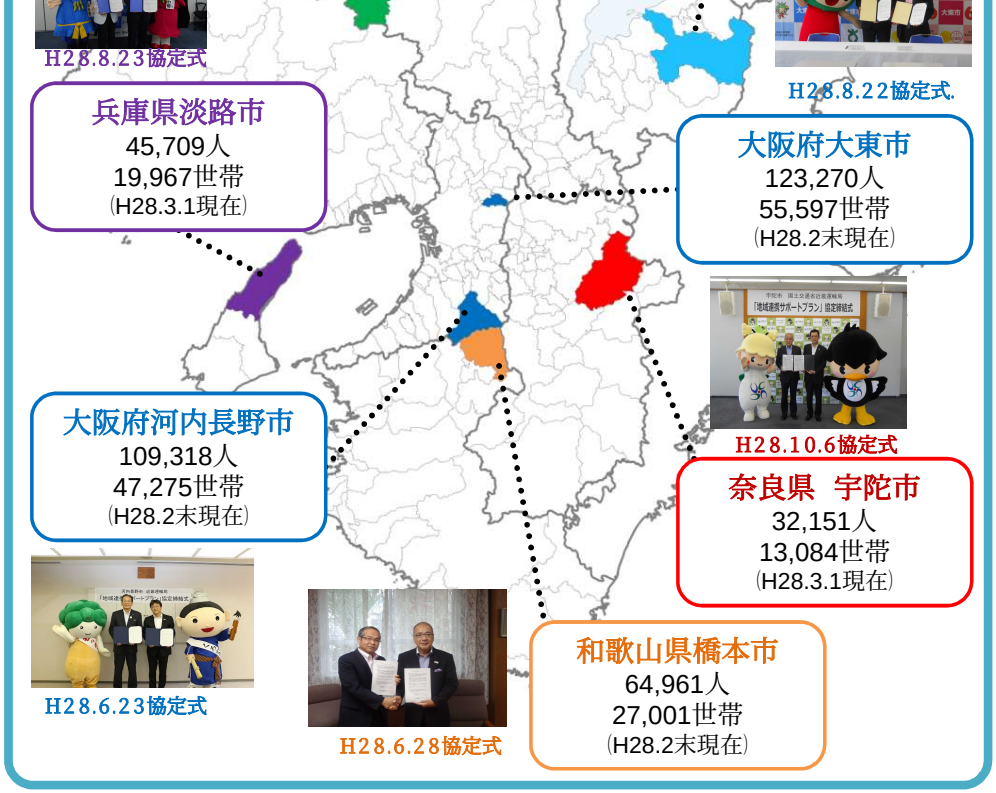
■地域連携サポートプランとは

「地域連携サポートプラン」は、継続的な連携を基本に、地方公共団体の地域公共交通に関する取組みをこれまで以上に積極的に推進していくため、近畿運輸局と対象となる自治体と協定を結んだ上で、地域公共交通に関する現状把握、意見交換、これらを踏まえた課題の整理等及び課題解決に関する提案書の交付を行うことにより、地域公共交通網形成計画の策定などを通じて、地域公共交通に関する課題解決を目指す。

平成28年度　『地域連携サポートプラン』の進め方

1. **自治体との協定の締結**　･･･近畿運輸局と自治体との間で「地域連携サポートプラン」協定を締結
2. **課題解決に向けた取組の実施**　･･･地域公共交通に関する現状把握、意見交換などを行う
3. **現状把握などを踏まえた課題の整理**　･･･自治体と連携しつつ、現状把握、意見交換などを踏まえ課題を整理
4. **ワークショップの開催(運輸局・支局)**　･･･学識経験者など第三者の観点から、様々な意見や解決策を聴取
5. **課題解決に関する提案書の交付**　･･･近畿運輸局より課題解決に係る提案書を交付

『地域連携サポートプラン』選定自治体概要



資料３－４

河内長野で働く人，暮らす人，企業，みんなが元気になるイベント

河内長野市商工祭

One Love FESTA 2016

小雨決行

11月20日（日） 9:00～15:00

入場無料

会場：河内長野市役所 駐車場

南海無料シャトルバス

始発 8:30から最終14:20（河内長野駅発，千代田駅発）

※シャトルバスについては諸事情により変更となる場合があります　市役所発 最終 16:30

河内長野駅 ⟷ 市役所（経由）⟷ 千代田駅

駐車場はありませんので公共交通機関等をご利用下さい

主催　河内長野市商工会　企画　河内長野市商工会青年部　後援　河内長野市

協力　河内長野市商店連合会

お問い合わせ先　河内長野市商工会　〒586-0025 河内長野市昭栄町 7-3
TEL：0721-53-9900 FAX：0721-52-2606